

感動

私たちは、気をつけなければならないことは、年を重ねるにつれ、感動ということが薄らいでいくことです。野鳥を追っかけていても、初めて見るときは、興奮してシャッターを切るけれども、何度も撮り続けると、何も感じなくなり、それでも、もっと良い写真が撮れないかと、毎年写真を撮っている。まだ撮れていない珍鳥は、そのうち撮れるだろうと、楽しみを残して、気長に対応する。

以前、砂漠の夕陽を見て涙を流している光景を見て、これが感動なのかと思ったことがある。“感動”という言葉調べてみると、美しいものや素晴らしいことに接して、強い印象を受け、心を奪われること。深くものに感じ、心を動かすことと説明されていた。そんな体験を、過去を振り返り、思い出してみると。やはり、夕陽でした。童謡で“赤とんぼ”の歌詞で“夕焼け小焼けで日が暮れて……”の中で、“小焼け”とは何かと、興味がわき、岬へ行って、夕空を日が暮れるまで、眺めたことがありました。その時の空一面のオレンジ色の世界に陶醉したことがあります。“小焼け”については良くわかりませんでした。後に、調べてみると、意味はなく、アドリブで付け足された言葉だそうで、近年、陽が沈んで、夕陽が雲に映りこんだ光景だと意味つけられているようです。

最近、“緑の地平線”ということを知りました。夕陽が沈む一瞬に地平線上に緑の光線が現れる。これを見た人は“幸せがもたらされる”とのこと。この現象は、太陽の弧の上の部分に波長の短い緑の光線が低い傾斜角で出ます。普通は強いオレンジの光線がかぶさり見えにくいのですが、空気の澄み切った条件の下で見えるようです。日本では、小笠諸島父島三神山展望台、石垣島、宮古島が人気スポットです。一度見て感動してみたいものですね。